

蝶の蜜源（成虫のエサ）



ST

ツツジ類（4-5月）

- ナミアゲハ
- ナガサキアゲハ
- クロアゲハ ● モンキアゲハ

S 白鳥庭園にあり
T 徳川園にあり

- アゲハチョウ科
- シロチョウ科
- △ シジミチョウ科
- ◆ タテハチョウ科
- ▲ セセリチョウ科



S

シャリンバイ（5月）

- アオスジアゲハ
- ナミアゲハ
- クロアゲハ
- ◆ ツマグロヒョウモン



ST

センダン（5-6月）

- アオスジアゲハ
- ナミアゲハ



S

アベリア（5-11月）

- ナミアゲハ
- モンシロチョウ
- △ ヤマトシジミ
- ◆ ツマグロヒョウモン
- ▲ イチモンジセセリ ほか



T

カクレミノ（7-8月）

- アオスジアゲハ



T

クサギ（8-9月）

- ナミアゲハ
- クロアゲハ
- ナガサキアゲハ
- モンキアゲハ



ST

ハギ（8-9月）

- △ ウラナミシジミ
- △ ヤマトシジミ、△ ツバメシジミ
- キタキチョウ
- ▲ イチモンジセセリ
- ▲ チャバネセセリ ほか

ナミアゲハ、アオスジアゲハは、市街地で見かけるチョウの代表格です。彼らが季節を問わず姿を見せてくれるのは、春はツツジ、初夏はセンダン、夏～秋口はヤブカラシ…という具合に**蜜源のリレー**が繋がっているおかげです。

蜜源のリレーが途切れると、チョウの出現も途切れます。

秋のウラナミシジミやキタキチョウのように、季節限定で姿を見せるチョウもいます。彼らの出現時期と蜜源の開花時期のマッチングも、重要なポイントです。

花ではなく、樹液や腐果を蜜源とするチョウもいます。主に、森林性のチョウです。

	樹液	腐果	獣糞
△△ラサキツバメ	●		
△△ラサキシジミ	●		
△ウラギンシジミ		●	●
◆コムラサキ	●		●
◆ルリタテハ	●	●	
◆ゴマダラチョウ	●	●	



ST

タンポポ (3-5月)

- モンシロチョウ
- ナミアゲハ
- △ベニシジミ



ST

カタバミ (5-7月)

- モンシロチョウ
- △ヤマトシジミ



S

ヤブカラシ (7-9月)

- アオスジアゲハ
- ナミアゲハ
- ◆ツマグロヒョウモン



S

オミナエシ (8-10月)

- ナミアゲハ
- △ヤマトシジミ
- ◆ツマグロヒョウモン
- ◆ヒメアカタテハ
- ▲イチモンジセセリ ほか



ST

ツワブキ (10-12月)

- キタキチョウ
- △ヤマトシジミ
- ◆ツマグロヒョウモン
- ◆ヒメアカタテハ
- ◆アサギマダラ ほか



S

アブラナ (3-4月)

- モンシロチョウ
- ナミアゲハ



S

イヌガラシ (4-6月)

- モンシロチョウ



T

オニユリ (7-8月)

- ナミアゲハ、●クロアゲハ
- ナガサキアゲハ
- モンキアゲハ



ST

フジバカマ (9-10月)

- ◆アサギマダラ
- △ヤマトシジミ
- キタキチョウ
- ◆ツマグロヒョウモン
- △ウラナミシジミ
- ▲イチモンジセセリ ほか



ムラサキハナナ (4月)

- モンシロチョウ
- ナミアゲハ



ノアザミ (5-6月)

- ナミアゲハ、●モンキアゲハ
- モンシロチョウ
- ◆ツマグロヒョウモン
- ▲イチモンジセセリ ほか



S

ソバ (7-8月)

- モンシロチョウ
- △ヤマトシジミ
- ◆ツマグロヒョウモン ほか



S

ヒヨドリバナ (8-10月)

- ◆アサギマダラ
- ◆ツマグロヒョウモン ほか



ST

ヒガンバナ (9月)

- ナミアゲハ
- クロアゲハ